



2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッソ / 第 2620 地区がバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアクトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



BE THE INSPIRATION



第743回例会11月27日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：中野雄介 龍谷義行 ■点鐘：鷲津有一 ■週報：寺田洋平
- ロータリーソング：「奉仕の理想」
- ゲスト：心理カウンセラー NPO 法人ハーモニー理事長 池谷直士様
内山真巳様
米山記念奨学生 肖 英華さん

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 66 名 出席率 88%
前々回出席率 80%

- ① 鷲津会長 ②伊藤勝人さん

会長挨拶

鷲津会長



おはようございます。卓話ゲストの池谷直士さん、ならびに内山真巳さん、早朝よりお越し頂きありがとうございます。

先週 18 日は、防潮堤の植栽事業に多くのメンバーや家族の方にご参加頂き、ありがとうございました。3 年目だからでしょうか皆さん手慣れた様子で予定よりかなり早く終わることができました。

また、23 日には天浜線 花のリレープロジェクトの初植栽が常葉大学前駅で行われ、パワーからは 5 名が参加し、駅南側の土手にヤマブキの苗 100 株を植栽しました。このプロジェクトには、浜松市花みどり振興財団理事長である樹木医の塚本こなみさんが総合プロデューサーとして参画されており、植栽場所には苗を植える穴が掘られ、中には土中の善玉菌を活性化させる炭や有機肥料がまかれており、植栽場所の周辺には雑草が生えないよう防草シートが張られており、事前準備のほうがはるかにご苦労だったと思えました。ヤマブキはバラ科の落葉低木で、背丈は 1~2 メートルくらい、暑さ寒さにも強く育てやすい植物と言われてます。4 月の中旬から下旬に鮮やかな黄色い花を咲かせます。地際から新しい枝が次々と伸びてきますので、来年は 100 株の花ですが、数年後にはまるで黄色い絨毯を敷いたようになるそうです。ヤマブキの花が年々増えていく様子を楽しみにしたいと思います。

幹事報告

鈴木幹事



*クラブに届くメールについて報告します。

- ①地区の財団事務所からロータリー情報冊子のご案内。
- ②2620 地区より意義ある奉仕書、オンライン申請にチャレンジして下さい。
- ③東京浅草ロータリークラブより御来会のお礼あり。
- ④例会終了後、理事会がメイフェアの間であります。

ハッピーパースデー

中野雄介さん、岩本英樹さん、伊藤勝人さん、村田誠さん、金山土洲さん、長谷川博久さん、村木さん、武田信秀さん、以上 8 名

委員会報告

財団プログラム部会 藤田さん



先週の日曜日に行われた防潮堤への松の植栽事業への御協力ありがとうございました。

地区米山記念奨学委員会 小澤さん



先日、米山記念館で面接官のオリエンテーションが行われました。12月16日に次年度米山奨学生の面接があります。皆様に御協力いただくことがあるかもしれませんが宜しくお願い致します。

議 事

池谷直士様 卓話

「こう考えればもう少しがんばれる」

担当：社会奉仕部会



おはようございます。私は脊髄性筋萎縮症という病気で生まれた時から運動神経がほとんど死んでしまっており感覚はありますが動けない状態です。2歳になってもハイハイも寝返りもしないため、両親が心配して全国の病院で診てもらいましたが、どこの病院でも「大丈夫もうすぐ歩けるようになりますよ」と原因がわからずにいた際、東京大学附属病院でみてもらった時に多分脊髄性筋萎縮症という病気だから5歳までしか生きられませんよと言われました。そう言われながらも今48歳になりますが元気にやっています。私の病気はだんだん筋力が弱っていき最終的には、しゃべれなくなり自分で呼吸もできなくなります。ただ両親が幸いにも明るく、冗談が大好きだった家族のおかげで子供のころから明るく育ててくれたので、なんとか自分を受け入れ自分の障害を受け入れて生きていくことができたと思います。

小中高と西部特別支援学校に通っていました。高校卒業後は一般の会社に1年程勤めましたが周りは健常者で、学生時代は先生や友達に助けてもらえましたが社会にでてからはトイレの世話や身の回りのことを手伝ってもらえないため、できるだけトイレに行かなく

てもすむように水分をとらずに朝から晩まで我慢するような生活をしていたため体を壊し入院し退社することになりました。しばらく家でボーっとしていましたが人間として生まれてきた以上何か貢献したいと模索し自分じゃないとできないことがしたいと考えていた時に、浜松医大のボランティアサークルでお世話になっていた際、医師をしていた今の妻に出逢いました。相手の両親の猛反対や、自分の父親が残した多額の借金などの困難がありながらも無事に結婚できました。

その後障害を持つ人たちのために何かしたいと考え介護の事業を始めました。最近新たな治療法も見つかり医師から進められましたが断りました。治療よりも穏やかな気持ちで過ごせばいい仕事もできるし、いい人たちとも出会えるし自分も気持ちよく社会に貢献でき幸せだと考えているからです。



スマイル報告

① 鷺津会長

池谷直士様、今日は貴重なお話をして頂きありがとうございました。ご自身が重いハンデを背負いながらも障害等で不自由されている方やご家族を支援されていることに深く感銘いたしました。今後益々のご活躍と池谷様の周りの多くの笑顔が広まることをお祈りいたします。

② 伊藤勝人さん

11月3日、94歳で母が他界しました。母の為にパワーRCより過分な配慮を頂き本当に有難うございました。改めて御礼申し上げます。